

稲作情報



みやぎ仙南農業協同組合

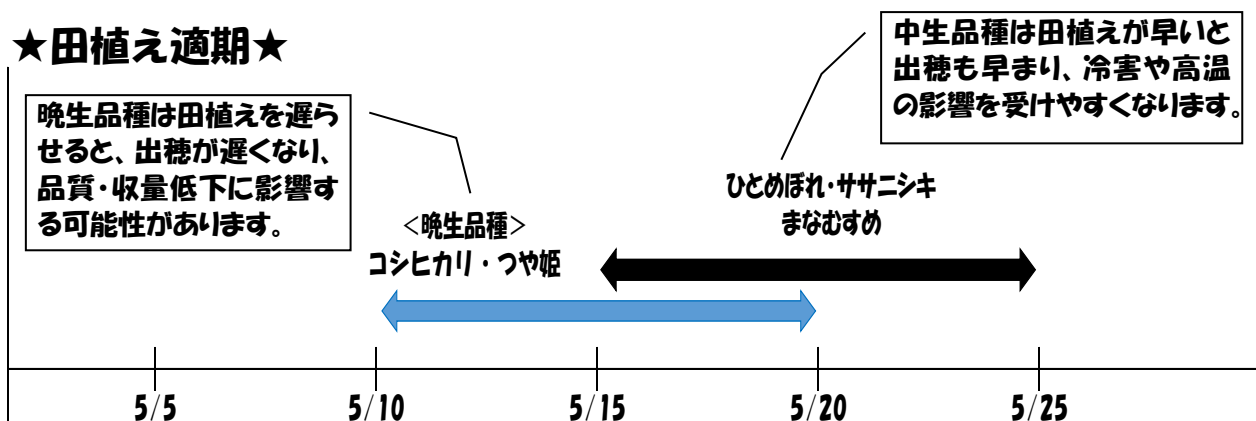
米穀課 0224-55-1590

令和7年5月1日

～田植えは苗の活着を良くするため、天気が良く風の弱い日に行いましょう～

田植え時の目標	稚 苗	中 苗
苗質(草丈/葉数)	10～15cm/2.1～2.5葉	13～18cm/3.5～4.0葉
苗の活着限界温度	水温13℃前後	水温14℃前後
栽 植 密 度	60～70株/坪(株間18cm～16cm)	
植 付 本 数	4～5本/株	3～4本/株

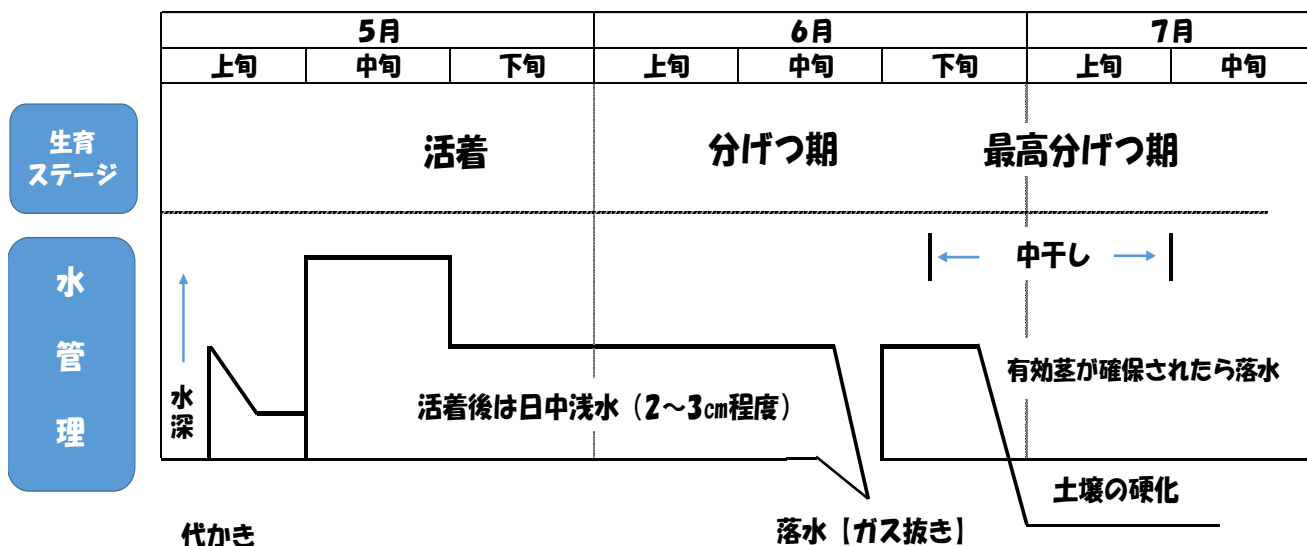
★田植え適期★



～田植え後の水管理を徹底して初期生育の確保に努めましょう～

気象庁の3カ月予報によると、向こう3カ月の気温は平年よりも高くなる見込みです。気温が高くなると雑草の生育が早まりますので、水稻除草剤の散布が遅れないように注意しましょう。水稻除草剤は田面が見えないように水位を保ち、かけ流しにならないように注意しましょう。

★水管理の目安★



田植え後の水管理（5月中～下旬）



○田植え直後の水管理と活着促進！！

- ・田植え後の1～2日は、植え傷みを少なくするために、やや深水にしましょう。
（目安：葉先が2～3cm出る程度）
- ・その後は、水温・地温が最も高く保てるように、やや浅水（2～3cm）を保ちましょう。

○活着後～分けつ始期

- ・天候が良い場合は浅水管理として水温・地温の上昇をはかり、分けつを促進しましょう。
- ・表層剥離や藻の発生が多い場合は除草剤の拡散や水温・地温の上昇に影響しますので、薬剤を散布しましょう。 **※こだわり米は使用できません！！**
（使用薬剤例：モゲトン粒剤 2～3kg／10a 表層剥離、藻の発生時に散布）
- ・低温時や強風の場合は、深水管理（5～6cm）をしましょう。



田植え後の圃場に補植用苗が置いてある場合は、病虫害の発生原因になりますので、早めに処分して下さい。

除草剤の使い方

下記は「こだわり米」の使用方法になりますが、JA米(指定栽培米)生産者の方も参考にしてください

一発処理（初中期一発剤）

こんな圃場に！
①田植え同時処理をする圃場
②抵抗性雑草が少ない圃場
③水もちが比較的良好な圃場

農薬名	使用量（10aあたり）	散布	備考
アットウZ1 [※] 粒剤	1kg	・移植時、移植直後～/ビエ4葉期	いずれか 1剤使用
アットウZ70アフル	500ml	・移植3日後～/ビエ4葉期	
アットウZジャンボ	40g×10個（400g）		
アットウZ400FG	400g		

※遅くても代かき後10日以内に散布

体系処理（初期剤＋初中期一発剤）

こんな圃場に！
①漏水しがちな圃場
②抵抗性雑草が多い圃場
③毎年雑草が多発する圃場

農薬名	使用量（10aあたり）	散布	備考
ピラクロン1 [※] 粒剤	1kg	・植代後～移植7日前まで	いずれか1剤使用
ピラクロン70アフル	500ml	・移植時、移植直後～/ビエ1.5葉期	
ピラクロンジャンボ	30g×10個（300g）	・植代後～移植7日前まで	
ピラクロン300FG	300g	・移植直後～/ビエ1.5葉期	



※移植後5日以内に散布

農薬名	使用量（10aあたり）	散布	備考
アットウZ1 [※] 粒剤	1kg	・移植時、移植直後～/ビエ4葉期	いずれか 1剤使用
アットウZフロアフル	500ml	・移植3日後～/ビエ4葉期	
アットウZジャンボ	40g×10個（400g）		
アットウZ400FG	400g		

※薬剤の使用にあたっては、最新の農薬登録情報を必ず確認してご使用ください。